

- 一般社団法人化2周年を迎えて-----①
- 東京都計量検定所 新庁舎に移転 -----①
- 平成25年第3回技術研修会 -----②
- 会員のひろば -----③
- 平成26年度イベントカレンダー-----③

Libra Vol. B037  
2014年4月1日発行

発行/一般社団法人 計量器コンサルタント協会  
〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-41  
一般社団法人 東京都計量協会内  
TEL 03-6666-8960 FAX 03-6666-8970

計量の安心・安全・信頼を推進する  
計量器コンサルタント

## 一般社団法人化2周年を迎えて 会長:植村実敏



植村実敏会長

会員の皆様、平成25年度の当会の事業は予定通り滞りなく終了しましたことをご報告申し上げます。これも一重に会員各位のご理解とご協力の賜物と心よりお礼申し上げます感謝致します。ありがとうございました。

さて、当会は一般社団法人化を行い早や2周年を迎えました。法人化と共に会員数の増加を目指すため、また新規事業の立ち上げをテーマに専任の事業グループを作り施策検討を続けておりますが、検討時間の制約等もあり具体的な施策として現れてはおりません。引き続き検討を重ねて参りますのでご容赦賜りますようお願い申し上げます。会員数を増やすにはどうすれば良いのか？今の協会で出来る新規事業とは何か？をテーマとしておりますが、会員各位からも様々なアイデアやご意見ご要望がございましたら事務局まで積極的にお寄せいただきたいと思います。何卒、ご協力頂きますようお願い申し上げます。

現在、当協会の母体である一般社団法人日本計量振興協会において「計量器コンサルタント制度」の更なる拡充と発展を目指して協議が進められております。来年度は計量器コンサルタント資格取得研修会も実施される見込みです。

具体的な日程は、改めてお知らせいたしますが、ぜひこの機会に会員各位の周りで未だ資格未取得の方がいらっしゃいましたら受講をお勧め頂き、当会へのご入会をご案内頂きますようお願い申し上げます。

当協会の設立目的は、産業・経済の発展に伴う新しい時代に対処するため、計量器コンサルタントの更に高度の知識の習得と技能の向上を図り、計量器の供給者と使用者相互の理解を深め、もって計量の安全確保に寄与し、併せて会員相互の親睦を深めることとしています。「計量器コンサルタント」の資格は、計量器の製造や販売に携わる者としてぜひとも取得したい資格であり、更なるスキルアップを目指して頂きたいと思っております。資格取得後に当協会にご入会頂ければ、技術研修会や見学会を通して、最新技術や情報を取得でき、懇親会での意見・情報交換も可能となります。

今後の、資格取得研修会の実施案内にご留意ください。

最後になりますが、会員各位のご活躍とご健勝、そして会員企業の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 東京都計量検定所 新庁舎の概要

東京都計量検定所が新庁舎に移転し業務を開始した。

新庁舎は、敷地面積3,532.64㎡、延床面積4,353.14㎡、地上4階建ての規模となる。本館1階は「高精度検定・検査フロア」として、質量計検定室や天びん室、クリーンルーム、圧力計検定室、環境計量器検査室、非自動はかり検定・検査実習室、台秤室を設けている。同2階は一般開放フロアとして計量展示室を設け、計量に関する知識や計量思想の普及を行っている。同3階は職員事務フロアで職員事務室及び各種申請・相談コーナーがある。同4階は、高セキュリティフロアとして薬品等を使用する検定・検査を行う。温度計検定室、軽液検定室、重液検定室・水銀化合物検定室が設置されている。別棟には台秤室が設置され、室内環境を最適に保ち大型分銅等の検査を実施している。



東京都計量検定所:本所

所在地:東京都江東区新砂3-3-41

電話:03-5617-6627(製修販、一般計量証明関係)

:03-5617-6626(適正計量管理事業所関係)

:03-5617-6635(計量相談等、その他)

平成25年度第3回技術研修会  
株A&D 「精密電子天びんを中心にその技術の現状、使用にあたっての管理方法等」

(一社)計量器コンサルタント協会(植村実敏会長)は、平成25年度第3回技術研修会を3月6日の午後、東京都豊島区東池袋の(株)エー・アンド・デイ本社会議室で開いた。出席者は約30名。

今回の技術研修会は、(株)エー・アンド・デイの協力を得て、同社の主力事業分野である電子計量器の中から精密電子天びんを中心にその技術の現状、使用にあたっての管理法等について研修した。エー・アンド・デイ製品をモデルに「計量の誤差要因とその影響と対処」「計量の際の環境条件の確認の必要性、定期検査」「JCSS普及に向けて」とテーマを設けて、開発や校正の担当者から詳細な解説がされた。

正確な計量をおこなううえで天びんやはかりを操作する際は、様々な環境の誤差要因をひとつひとつ解決していかななくてはならない。おおよそ対流、振動、湿度、静電気等がおもな原因で、正確な計量作業を阻害しているが、それらは微妙であり、ひとの感覚ではとらえにくく、本格的な研究室以外では多くの場合見過ごされてきた。

同社では、それら誤差要因を容易にモニターでき、また排除する周辺機器を取り扱っており、快適な計量作業を実現できるようになっている。

開会にあたり、まず八木佑幸副会長および植村実敏会長が挨拶し、またエー・アンド・デイの森島泰信氏(取締役営業本部長)からも挨拶があった。同社について簡単な概要を販売促進部の関口孝秀氏、「計量の誤差要因とその影響と対処」については、出雲直人氏(同社第一設計開発本部PJリーダー)、「計量の際の環境条件の確認の必要性、定期検査」は、佐藤嘉國氏(第1設計開発本部)、「JCSS普及に向けて」は、本永充氏(校正室校正課課長)と講演がおこなわれた。途中の休憩時間には、会議室のなかに展示されたマイク天びん「BMシリーズ」や環境ロガー「AD-1687」環境アナライザー「AD-1691」、新製品のピペット類などを、手に取って操作して、係の説明に聞き入ったり、質問を投げかけたりしていた。



写真右上:説明に聞き入る様子  
写真左上:挨拶する森島泰信氏  
写真左下:機器に触れる様子  
写真右下:電子天びん「BM-20」



トピック  
ス

会員企業の共栄衡器株式会社 (Vol.B026にて紹介)が、今年2月で創立50周年を迎えた。創業者の大森健次氏が昭和39年に計量器専門商社として共栄衡器営業所(個人事業)を立ち上げ、以来はかりを中心に各種計測器の販売・検査・校正・修理、また計量システムやコンサルタント業務を手掛けている。昨年11月には、従業員や取引先、関係各位が集まり創業50周年を記念したゴルフ大会も開催された。

【沿革】

- 昭和39年 2月 創業者大森健次が計量器専門商社として東京都足立区千住に共栄衡器営業所(個人事業)を開業
- 昭和41年12月 大森規雄氏 誕生
- 昭和45年 7月 法人組織として共栄衡器株式会社を設立。同時に東京都墨田区八広に墨田営業所を開設
- 昭和63年10月 本社ビルを建設。墨田営業所を本社営業部へ統合  
同所を墨田サービス工場として発足
- 平成 7年12月 墨田サービス工場を本社に統合して閉鎖
- 平成24年 9月 専務取締役の大森規雄が代表取締役に、代表取締役の大森健次は取締役会長に就任



社屋

代表取締役 大森規雄氏のコメント

「弊社は今年の2月1日で満50歳を迎えました。これもひとえにお客様をはじめ、業界の方々のご協力並びにご支援の賜物と思っております。心より感謝申し上げます。

私は先代から社長を交代してまだ1年半余りと経験も浅く過去50年の大半は先代の功績によるものですが、

先代の口癖でもあります『お客様第一』をモットーに今後も会社を益々繁栄させて、社会に貢献していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。」



大森規雄氏



大森健次氏

平成26年度 イベントカレンダー

計量器コンサルタント協会

- ・第1回技術研修会 5月中旬
- ・第1回研修見学会 7月上旬
- ・平成26年度定時総会 6月中旬
- ・東西計コン見学会 10月中旬

計量関連団体

- ・JASIS2014(分析展2014「第52回」/科学機器展「第36回」) \* 9月3日(水)~5日(金)  
幕張メッセ国際展示場
- ・INTERMEASURE2014(第26回国際計量計測展) \* 9月17日(水)~19日(金)  
東京ビックサイト
- ・関東甲信越地区計量団体連絡協議会 \* 10月23日~24日  
新潟県 弥彦温泉
- ・計量記念日「都民計量のひろば」 \* 11月1日(土)  
新宿西口ひろば
- ・JIMTOF2014 (第27回日本国際工作機械見本市) \* 10月30日(木)~11月4日(火)  
東京ビックサイト